

・地域経済活性化支援事業について

・保健衛生事業について

・再生可能エネルギー事業について



公明党

むしや ようこ
武者 葉子



詳しい内容は
こちら

本市では、昨年、地域経済の循環のため、地域通貨「ウメカ」を導入し、半年が経過しました。町中に薄緑の「ウメカ」の、のぼり旗が、あちこちに広がってきています。自治体で推進している地域通貨は、全国で展開されていますが、成功例を参考にして「ウメカ」が安中市ならではの特徴を生かした地域経済の活性化に繋がるよう、これまでの「ウメカ」導入の経緯、成果、課題、今後の展開などについて質問しました。

予防接種事業では、今年度から定期接種化されました、帯状疱疹ワクチン接種の変更点や、今後の任意接種の市の取り組みなどを質問しました。

再生可能エネルギー事業では、本

年度より追加された、木質ペレットストーブ設置補助事業について、導入の経緯、木質ペレットストーブの特徴、今後の展開、その他の導入事業などについて質問しました。



店頭でのウメカのはり旗

・AI 新交通システムについて

・高齢者の公共施設使用申請について

昨年暮れに行った実証実験よりも運行時間帯が延びたにもかかわらず、2台で一日8.3人と利用者が少ないことについて原因と対策を聞きました。利用者の増加につながらない要因は、人口減少が大きく進んでいることや宣伝が効いていないこと、利用者はたとえ300円で乗っても、この物価高では買い物に行けないこと等が考えられます。タクシー事業者との共存を図るといいますが、停留所まで行けない高齢者が急増しています。同時に高齢者の貧困と将来の不安が影響し、便利とわかってもタクシーを利用することができません。タクシー事業者の営業を守り、利用者の利便を図るためにも、ドアツードアシステムを採用するべきだ

と思います。松井田地域のような中山間の過疎地では、ドアツードア方式の導入を真剣に検討するよう求めます。東京の事務所の運行指示に頼るのでなく、地元での予約配車を担う団体に委託するべきではないか、と聞きました。

松井田地区の高齢者が地元のスポーツ施設の使用許可を取るのに、スポーツセンターまで行かないと使用申請ができません。支所の窓口で空き状態を確認、申請ができるよう、デジタル化を進めるのならこういうところから始めるべきではないか、と聞きました。



日本共産党安中市議団

かない ひさお
金井 久男



詳しい内容は
こちら